

The background image shows a basketball gymnasium with wooden bleachers. A large maroon banner hangs from the bleachers, featuring the text 'MEISEI UNIV. BASKETBALL' and a logo. Below the logo, it says 'Commitment to Style' and 'Keep playing the game'. In the foreground, a group of basketball players in blue jerseys and white shorts are huddled on the court. A person is filming them with a professional video camera.

**MEISEI UNIV.
BASKETBALL**



Commitment to Style
Keep playing the game

2023 72nd Spring Tournament Game Report

**MEISEI UNIVERSITY
MENS BASKETBALL CLUB**

スプリングトーナメントとは？

関東大学バスケットボール連盟では、リーグ戦は年に一度、秋にしか開催されません。春は関東大学選手権、関東大学新人戦が開催され、秋に開催される関東大学リーグ戦とあわせて3大タイトルの1つです。関東大学選手権は、通称「スプリングトーナメント」と呼ばれ、関東リーグに所属している約100大学が一同にトーナメント方式で競い合う大会です。例年4月中旬から開幕していますが、本学は6年連続でベスト16のシード権を獲得しています。



VS 西武文理大学（関東大学3部リーグ5位）

初戦の相手は、西武文理大学。昨年、ベスト32シードを獲得したチームで、順当に勝ち上がってきたチームです。西武文理大学の監督は、能代工業高校を幾度となく全国優勝に導いてきた名将加藤三彦先生が率いているチームです。

試合は、立ち上がりから明星大学らしい展開に持ち込むことができました。今シーズンAチームのラインナップは下級生主体となっていて、starting 5には2名の1年生がいます。

明星大学は1on1から個で打開して攻撃を仕掛けることを徹底していて、そのスタイルを表現し序盤から得点を量産していきます。1年の青木、モーゼスは、1年生とは思えぬ活躍でどんどん得点を重ねました。さらにエースの2年村上も得点を重ね、1Q終了時点で42対14と大きくリードし、2Q以降、全員出場を果たして無事に勝利致しました。

《MOM（マンオブザマッチ）》

1年 ダイラ・モーゼス・ヨラム 【play time : 22:37】 24pt / 14RBD

攻守に渡り活躍！1年生ながらベンチに入る時間帯もチームを鼓舞して声を出してくれた

明星大学																		
No.	選手名	GS	PTS	3P	2P	OR	FT	RBD	AST	STL	BLK	TO	PF	FO	OF	DO	MIN	
			M	A	%	M	A	%	OR	DR	TOT							
1	原 伊吹	●	2	0	0	1	1	100	0	2	0	1	2	3	3	2	0	10:41
2	島 飛矢		9	2	5	40	1	2	50	0	1	2	3	3	1	0	11:03	
3	坂本 龍力		4	0	0	0	2	6	33	0	0	0	4	1	5	3	13:49	
5	黒瀬 竜斗		5	1	4	25	1	1	100	0	0	0	0	0	0	0	4:24	
6	北見 聖太郎		5	1	5	20	1	1	100	0	0	0	2	1	3	0	7:45	
8	松本 空大		9	0	1	0	4	6	67	0	1	4	25	2	1	3	8:25	
9	櫻井 一気		2	0	0	0	1	2	50	0	0	0	1	2	3	1	10:00	
10	今井 弘己	●	12	1	4	25	4	5	80	0	1	1	100	5	2	7	23:10	
12	ブレア 陸		2	0	0	0	1	3	33	0	1	0	3	1	4	0	8:41	
14	松田 健太		3	0	1	0	1	3	33	0	1	1	100	3	0	3	6:16	
15	藤原 聖彰		0	0	5	0	0	1	0	0	0	0	4	4	0	1	10:00	
16	宮永 颯太		9	1	2	50	3	6	50	0	0	0	1	2	3	0	10:11	
23	ダイラ モーゼス	●	24	0	0	0	11	15	73	0	2	4	50	6	8	14	22:37	
29	村上 旦誓	●	19	2	7	29	6	10	60	0	1	1	100	0	3	3	25:23	
31	青木 汰斗	●	25	4	8	50	6	12	50	0	2	2	100	2	8	10	27:29	
Team/Coaches			0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
TOTALS			131	12	42	29	43	74	58	0	9	18	50	30	39	69	1316	



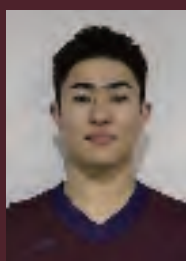
starting 5



CAP / 2年 / 村上旦誓
(経済学部 / つくば秀英 / SF/185cm)



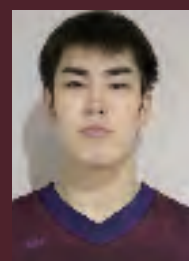
1年 / 青木汰斗
(経済学部 / 北越 / SG/178cm)



3年 / 原伊吹
(経済学部 / 樹徳 / PG/175cm)



1年 / ダイラ・モーゼス・ヨラム
(人文国語 / 美濃加茂 / C/203cm)



3年 / 今井弘己
(情報学部 / 羽黒 / PF/185cm)



VS



VS 白鷗大学 (関東大学リーグ 1 部リーグ 1 位)※2022 年度全国準優勝

白鷗大学は、「2021 年度全国初優勝」、「2 年連続全国決勝」そして「関東 1 部リーグ 1 位」の強豪であり、指揮を執る監督も U23 代表監督、選手も U23 日本代表を連ねるなど大学界のトップチームです。試合に向け、本学のアシスタントコーチ、アナリスト、マネージャー達が懸命にスカウティングを行い、今回、徹底的に対策を取って、試合に挑みました。もちろん相手は日本最強チームです。そこにどれだけ明星大学スタイルを表現するかがキーポイントでした。

《1Q》

相手の苦手なスリーポイントを完全に捨て、ドライブの強さに対して徹底的にカバーディフェンス（ヘルプアクション）を実行。U23 代表候補の脇選手（192cm）のスピードと強さで仕掛けてくるアタックに対し、2 人でディフェンスすることを徹底して 19-20 で折り返す。

《2Q》

一気に仕掛ける！モーゼス選手のスリーポイントが決まりそこから明星大学らしい速い展開に持ち込み、一時逆転をするも、2Q 後半から本学のシュートが落ち出し、相手にカウンター速攻を展開され、前半を 37-44 で折り返す。

《3Q》

ここでゾーンディフェンスを試み、4 分間 2-4 というロースコアに持ち込んだ。しかし、重い展開を相手が抜け出し、スコアを重ねてしまう。

《4Q》

明星大学のシュートが落ちて打開策が立てられない。相手は明星大学の落ちたシュートをしっかりリバウンドを取って、カウンターで攻める。66-100 で敗戦となる。

《MOM（マンオブザマッチ）》

CAP 2 年 村上旦憲【play time 38:54】19pt / 4RBD / 2AST

チームハイの得点を記録 38 分出場で果敢に attack していた

明星大学																													
No.	選手名	GS	PTS	M	A	%	M	A	%	DK	M	A	%	OR	DR	AST	STL	BLK	TO	PF	TF	FO	FO	DQ	MIN				
1	原 伊吹	●	4	0	1	0	1	4	25	0	2	2	100	0	3	3	2	0	0	4	4	0	0	0	0	19:00			
2	島 隆夫		3	1	2	50	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2:39				
3	坂本 剛矢		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	4:26				
6	北見 源太郎		7	1	4	25	2	3	67	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	1	1	0	0	0	15:44				
7	アダムソン 茂雄		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2:05				
8	松本 空大		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2:10				
9	櫻井 一兵		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0:20				
10	今井 弘己	●	3	1	5	20	0	1	0	0	0	0	0	2	9	11	2	4	2	0	2	0	0	0	40:00				
12	ブレア 瑠		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	7:54				
14	松田 健汰		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3:02				
15	飯塚 康新		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1:42				
16	宮永 風太		2	0	0	0	1	1	100	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4:00				
23	ダイヤル モーゼス	●	13	1	1	100	5	8	62	0	0	1	0	2	6	8	0	1	0	2	5	0	2	0	1	24:14			
29	村上 旦憲	●	19	3	13	23	4	13	31	0	2	2	100	0	4	4	2	1	1	3	3	0	0	0	0	38:54			
31	青木 汰斗	●	15	2	8	25	4	12	33	0	1	4	25	0	5	5	1	0	0	6	0	0	0	0	0	33:46			
Team/Coaches			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
TOTALS			66	9	34	26	17	46	37	0	5	11	45	8	33	39	7	7	5	17	17	0	2	0	1	0			



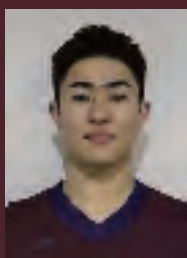
starting 5



CAP / 2 年 / 村上旦憲
(経済学部 / つくば秀英 / SF/185cm)



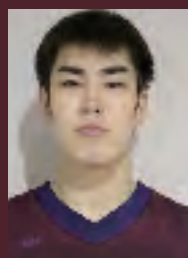
1 年 / 青木汰斗
(経済学部 / 北越 / SG/178cm)



3 年 / 原伊吹
(経済学部 / 樹徳 / PG/175cm)



1 年 / ダイヤル・モーゼス・ヨラム
(人文国コミ / 美濃加茂 / C/203cm)



3 年 / 今井弘己
(情報学部 / 羽黒 / PF/185cm)



【柴山英士監督 総評】

相手が全国トップレベルの大学ということはもちろん試合前からわかっていました。ベスト 8 まで行くにはこのレベルの相手に勝たないといけない。そして自分達のスタイルの証明にはならない。ただ、実際試合をやってみて「戦える」ということがわかりました。だからこそ、後半は特にとても悔やまれる内容でした。1・2 年生が多くを占めている若いチームだからムラがあるという言い訳はしたくありません。

もっともっとファイトできるように個人が強くないといけないと思っています。今回の試合を踏まえ、「圧倒的な個になる！」が今年のテーマとなりました。沢山の応援、本当にありがとうございました！



MU
BASKETBALL



主将 村上旦憲

白鷗大学に 66-100 という得点差で敗戦し、本年度のスプリングトーナメントを終えました。試合には敗戦しましたが、ここで気持ちを落としている場合ではないと思っています。次は 6 月に開催される新人戦にフォーカスして、また練習からハードにやっていこうと思っています。そして新人戦を勝ち上がり、再度白鷗大学と対戦したいと考えています。新チーム初となる公式戦でしたが、沢山の方々の応援のお陰で最後まで粘り強く試合に挑むことができました。明星大学男子バスケットボール部一同、感謝申し上げます。今後とも、弊部の応援をよろしくお願い申し上げます。

NEXT GAME ?

63rd KANTO UNIVERSITY BASKETBALL ROOKIES TOURNAMENT

6/5(Mon.) 18:00~

vs 西武文理大学

● 大田区総合体育館